

中学生海外 研修事業

中学生海外研修に
参加した生徒からの
報告です。

オーストラリアの 文化と食べ物



3年 野将太

僕は、7月29日から8月9日までの12日間、オーストラリアで、ホームステイをしました。オーストラリアは、冬だったので、着いた時は、とても寒かったです。日本と正反対の気候だったため、なれるまで時間がかかりました。でもオーストラリアは冬でも雪が降らず、寒いのは朝と夜だけで、昼間は20度前後まで気温が上がります。オーストラリアは、日本とは文化が違うため、食べものの味つけが、日本とは異なり、とても食べにくかったです。見たこともなかった食べ物も、とても

文化の違い



3年 野内 聖

僕は、夏休みを利用して、オーストラリアに海外研修に行ってきました。そして、この海外研修を通して、オーストラリアと日本との文化の違いについて、いろいろと感じてきました。オーストラリアでは、衣・食・住のすべてが日本と異なっていました。

まず「衣」の違いです。僕たちが行った時期は冬なのでとても寒かったです。そんな中、コートを着ている人もいれば、裸で浜辺を歩いている人と様々でした。次に「食」の違いです。朝は、コーンフレークなどの質素なもの。昼は、ホットドックやカップヌードルなどを売店で買って食べました。日本と違って、毎日決まった給食が出るということはありませんでした。

オーストラリアの 学校生活



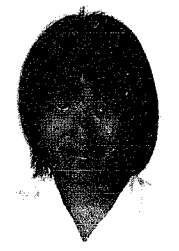
2年 柳花子

私は、オーストラリアと日本の学校の違いをとっても感じました。私が初めて学校へ行ったときは、ほとんどの人達がお菓子やポテトを口にしていました。日本の学校では考えられないようなことだったので、おどろきました。

それに、生徒のみんなはいろいろな形の服を着ていました。日本の学校みたいに、みんなが同じ形の制服を着るのではなく、自分達が着たい服を着るといいうような形だったので、少しうらやましかったです。

体育のある日は、水曜日だけで一緒にバレーボールをしました。その他にも、ジーンズデーという日があるらしくて、その日になるとジーパンをほとんどの人がはいていました。オーストラリアの生徒も、私達が学校で英語を習う感じで、

海外研修で 学んだこと



3年 石井彩也香

今回の海外研修を通して異国の様々な文化を学び、また興味もすこくわきました。これからも、このような機会があれば積極的に参加しようと思っっています。

私が海外研修に行ってみた、と思った一番の理由はホームステイを体験してみたかったからです。初めてホームステイ先の子、グレースに会った時は考えていたあいさつも出てきませんでした。それは緊張していたせいもありますが、グレースの一言目が「こんにち

は。」でびっくりしてしまっただけです。グレースは私よりも一つ年上で学校で日本語を習っていてとても上手でした。ホームステイ先の家族はお母さん、お父さん、グレース、弟の4人家族でした。みんなとってもいい人たちで細かい

日本語の時間がありました。中1くらいの生徒は、漢字で数字を書いたりしていたけど、高校生くらいの生徒になると、自己紹介のやり方を習っていました。オーストラリアにもALITの先生がいて、その先生と一緒に教えていました。私たちが言えば、タオ先生みたいな人です。

お昼は売店で、自分の好きなメニューをえらんで買っていました。メニューの中には、カップヌードルやホットドックがありました。

ホームステイ先のマイラちゃんには、学校生活や一週間という、とても短い毎日の中で本当にお世話になりました。

私にわかるように辞書で教えてくれたり、聞きとれない言葉もくり返して教えてもらったり、本当にありがとうございました。

日本語がまったく通じない国で、何日か過ぎるとホームシックにかかることもあったけど、マイラちゃんの家や学校の友達のおかげで一週間、楽しく生活ができました。本当にありがとうございました。

この経験を生かして、毎日の授業もがんばりたいと思います。

所まで気を遣ってくれてとてもうれしかったです。でも、ホームステイでいくつか困ったことがあります。まず、会って分かったことなのですが、グレースの家族はインドネシアから移住してきたインドネシア人でした。まさか、オーストラリアに来てインドネシアの人の家にホームステイするとは思ってもしようかとは思いませんでした。それと、話す時は英語を使ってくれたのですが普段はインドネシア語を使って会話していたので私は理解不能で、次の日に学校でみんなに会ってすこくうれしかったのです。言葉が通じる、っていうのはすこいことなんだな、と思いました。

でも、私がオーストラリアに行つて意外だったことは違和感をあまり感じなかったことです。もちろん言葉があまり通じず、大変な思いもたくさんしましたが、まわりのみんなが私達を自然に受け入れてくれていて、というのがとてもよく分かりました。私達の通った学校には白人を始め黒人、アジア系などのたくさん

月瀧村中学生 海外研修 概略

- 期間 7月29日～8月9日 12日間
- 研修先 オーストラリア（ホームステイによる語学及び海外体験学習）
- 7/29(土) オーストラリア シドニーへ向け出発（機中泊）
- 7/30(日) シドニー着 シドニー半日市内研修 ホストファミリー歓迎・対面式後 各ホストファミリー宅へ
- 7/31(月) 8/4(金) 地元の中学校にて。英語レッスン、地元中学生と交流・スポーツ交流（ホストファミリー宅泊）
- 8/5(土) 8/6(日) 終日ホストファミリーと過ごす
- 8/7(月) 地元中学校にて、英語レッスン、中学生と交流、スポーツ交流 終了後ホテルへ移動（ホテル泊）
- 8/8(火) 自由研修 日本へ向けてシドニー発（機中泊）
- 8/9(水) 月瀧 報告会

たがみんなとても自然でした。みんなにしてみれば当たり前のことだと思えますが、私にはなんだか不思議に感じました。その国の人しかいない国は日本くらいだ、ということをよく聞きますがなんとなく意味が分かったような気がします。大変なこと、楽しいこと、いろいろあります。がとてもいい経験になりました。この経験をいかしていろいろなことに取り組んでいきたいです。



参加者全員と付き添いの田海先生